

# 第17回年次大会 研究発表 募集要項 (Call for Papers)

2025年8月18日  
日本海洋政策学会  
年次大会実行委員会

学会員の皆様が一堂に会し、対面とオンラインのハイブリッド形式で海洋政策に関する様々な議論を行う年次大会を開催いたします。学会員の皆様から以下の通り発表を募集致しますので、奮ってご応募下さい。

---

- 開催日時：12月6日（土） 9：30開始
- 会場：東京大学小柴ホール、およびZoom ウェビナー
- プログラム：基調講演、口頭発表、パネルディスカッション、ポスター発表
- 統一テーマ：海洋科学と政策の対話－国連海洋科学の10年（UNDOS）の現在地
- パネルディスカッション：我々が望む海洋・政策・科学－学際知で挑む2030

---

## 【開催の趣旨】

「SDG14：海の豊かさを守ろう」の達成に向けた海洋科学の役割強化のため、国連総会で決議された「国連海洋科学の10年（UN Decade of Ocean Science for Sustainable Development 2021-2030）」は、今年中間年を迎えた。ここで海洋科学とは、多様な知識体系を重視し、公平性、包括性、多様性の原則に基づく幅広い概念である。そこでは問題解決に向けた行動の共同設計と実装、能力開発とパートナーシップ、そして政策との統合を通じた「変革的」な知の生産が企図されている。

6月にユネスコ内部監査部が公表した中間評価では、津波対策の普及や海洋リテラシー強化、オープンデータの推進などの分野で進展が認められた一方、地理的不均衡（欧米中心）、グループ間格差（SIDS、LDC、女性、先住民、非英語圏への配慮不足）、資金調達不足、特定課題への集中、地域ニーズとの不一致などの課題が指摘された。また、実業界と連携した解決策の社会実装や、2031年以降の世界の海洋科学のあり方を見据えた戦略的な評価システムの必要性も指摘された。

わが国は、アジアの非英語圏でありつつ世界の海洋科学をけん引するという面で国際的に重要な役割を担っている。海洋立国の実現にむけ、食料安全保障や生態系保全、海洋災害対策などの伝統的課題に加え、洋上風力発電や海底鉱物資源開発、北極政策など、新たな課題においても一層の科学・政策・社会連携が必要となる。

以上の問題認識に基づき、第17回年次大会では、海洋科学と政策の連携に向けた分析・考察を行った研究を中心に発表を募集する。またパネルディスカッションでは、様々な学術分野をまたがる専門家を招き、2030年に向けた総合的な海洋科学のあり方を展望する。

## 1 個別研究発表のテーマ、タイトル等について

今年次大会の統一テーマは『海洋科学と政策の対話－国連海洋科学の10年（UNDOS）の現在地』としますが、個別の研究発表は、必ずしもこれのみにこだわる必要はありません。海洋基本法および第4期海洋基本計画や海洋開発等重点戦略など、日常の学術的な研究を基礎におきつつ、総合的な海洋政策の形成を視野においた研究発表も受け入れます。個別学会では取り上げられにくい提言や大学院生などの論文も歓迎します。

また、発表の時点で日本海洋政策学会の会員であることは必ずしも要しません。発表申込の有無にかかわらず、この機にご入会をお願い申し上げます。

## 2 口頭発表（発表15分、質疑5分：予定）

### (1) 形式、文字数等

研究発表に応募する場合は、応募フォーマットを利用して**アブストラクト**を提出してください。アブストラクト本文原稿は、**日本語または英語**で、A4判、横書き、1,000字以内、図表類は字数に含まず1点まで。Word形式で、フォント、行数および1行の字数は適宜、設定してかまいません（例：40字×25行で1,000字に相当）。

### (2) 応募フォーマット記入要領

- ・タイトル
- ・発表者の氏名（漢字にはふりがなを付ける。連名の場合は、発表予定者を第1執筆者として表記）
- ・所属および職名
- ・連絡先（電話番号およびe-mailアドレス）
- ・発表希望 口頭発表かポスター発表を選択

### (3) 応募資格

年齢、性別、住所（居住地）、国籍、本学会の会員・非会員を問いません。ただし年次大会での発表時の通訳等は準備しておりません。

### (4) 提出方法

9月30日（火）12：00必着で、Word原稿を添付ファイルで下欄記載の日本海洋政策学会事務局にメールにて提出してください。

### (5) 採用審査及び発表

採用審査は、アブストラクト審査方式とします。第17回年次大会実行委員会に設置する審査委員会で、アブストラクト内容を審査し、10月上旬頃に審査結果を本人に通知するとともに、採択分については開催前に公表予定のプログラムに掲載します。採択分については、提出アブストラクトに基づき、当日発表用のプレゼ

ン資料を別途、準備していただきます(発表要領は採択通知以降に別途通知します)。  
また提出されたアブストラクトを参加者に配信いたします。

#### (6) 複数応募の件

発表者としての応募は、一人1件まで、ただし共同著作名での複数応募は可。

### 3 ポスター発表 (発表及び意見交換含め 30~40 分 : 予定)

今回会場ロビーにてポスター・セッションを行いますので、ポスター発表も同時に募集をいたします。ポスター発表に応募の場合も、研究発表と同様に、アブストラクト(上記2(1)(2)を参照)を提出していただきますが、ポスターに収録予定の要約文や図表類等を中心とした内容でも結構です。提出方法や採用審査・発表等は上記研究発表と同じです。また提出されたアブストラクト又は発表資料を参加者に配信いたします。

採択された場合は、A0サイズ1枚に、冒頭にタイトル、次行に発表者の氏名・所属等を記載し、発表内容の要旨を集約、整理して作成いただきます。

年次大会当日ご自身で貼り出していただきますが、詳細は別途、通知します。

なお、ポスター・セッションについては、最終プログラムで”コア・タイム“の指定がなされた場合には、ポスター発表者はその時間帯は必ずポスター前で閲覧者との対応をするようにしていただきます。

### 4 審査による発表形式の変更について

審査により採択された場合、ご希望の発表形式からの変更のお願いもありますのでご了解ください。(例：口頭発表からポスター発表への変更、またその逆)

### 5 費用その他

発表に関しての応募費用はかかりませんが当日の参加費が必要となります。

＜本件に関する問い合わせ先およびアブストラクト等提出先＞

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 笹川平和財団ビル8階

日本海洋政策学会事務局

E-mail : office@oceanpolicy.jp URL : <https://oceanpolicy.jp>

注：事務局は、原則毎週月曜日と木曜日の週2日、10時から17時の勤務となっております。対応に時間をお掛けする場合があります。